

# 明海大学 浦安キャンパス 同窓会報

第17号  
2011.12  
December



▲2011年9月18日、経済学科支部設立記念パーティーが学内で開催され、学科の教職員など約40人の関係者が支部誕生を祝った。

北原淳同窓会会長（以下北原） このたび経済学科の支部が設立され、これで浦安キャンパス全学科の支部が揃いました。今日は各支部の代表者にお集まりいただき、同窓会ますますの発展に向けての話

## 支部の歩み 「生みの苦しみ」と共に

明海大学浦安キャンパス同窓会は、2011年9月に経済学科支部がスタートしたことで6つの学科すべての支部が揃ったことになる。それを機に今回は、座談会企画として同窓会会長と各支部の代表者が集まり、支部の取り組みや運営の苦労話、今後の同窓会の展望などについて語り合った。

力を合わせていざ、未来へ!!

2011年 全学科支部がそろい踏み

ができればと思っています。まずはこれから本格的に活動していく経済学科支部のために、運営のアドバイスを含め、設立当時のお話などを伺いたいと思います。

**渡辺孝之不動産学科支部代表（以下渡辺）** 不動産学科支部は、浦安キャンパスで一番歴史のある支部です。私自身は1期生で、卒業してから同窓会のお手伝いを続けるうち、4代目の代表になりました。

**北原** 設立当初はお手本になる支部もなく、しかも年齢的にも卒業直後ということ、いろいろ苦労もあつたかと思いますが、**渡辺** みんな働き盛りの20代でしたから、仕事との両立には葛藤もあり本当に苦労しました。何よりゼロから支部の形を作るのは思っていた以上に大変でした。どちらも若いからこそその苦労というところでしょうか。



吉田哲也  
(経済学科支部副代表)

山下純八  
(HT学科支部代表)

志村典英  
(英米語学科支部代表)

川島信一  
(中国語学科支部代表)

北原 淳  
(同窓会会長)

渡辺孝之  
(不動産学科支部代表)

北原 まさに生みの苦しみですね。不動産業界は、景気変動の影響を最も受けやすいという側面もありますね。

渡辺 まさにその通りで、支部パーティーに参加してくれていた方が次の年には顔を見かけなくなったり、他の業種へ転職してしまったりと、発足後も学科特有の運営の苦しみがありました。

北原 そんな年月を経ての15周年パーティーは、感慨もひとしおだったんじゃないですか。

渡辺 はい。OBやOG、お世話になった先生方100名余りで盛大に祝いました。北原 設立時のメンバーが若いという点ではホスピタリティ・ツーリズム(以下HT)も同じですね。

山下純八HT学科支部代表(以下山下) 私は在学中から同窓会準備委員の代表で、卒業と同時に支部の代表になりました。まず行ったことは、同窓会の目的をはっきりさせることです。それは、同窓生同士の関わりにおける「仲介役」でありたいということで、この軸がぶれることのない運営を心がけています。

志村典英英米語学科支部代表(以下志村) 英米語学科では、「メンバー同士の顔が見えること」と「大人の付き合いができる組織であること」がモットーです。

北原 現中国語学科支部代表の川島君は、在学時に学友会の会長をしていたんです。学生時代からのつながりをきっかけに、



同窓会理事になってもらい、支部設立をお願いしました。その後の活動はどうですか。

川島信一中国語学科支部代表(以下川島) 中国語学科はそもそも卒業生の数が少ないんです。分母が小さい上に中国で職に就く卒業生も多く、活動に関わってくれるマンパワーの少なさに苦労しています。

北原 マンパワーということでは経済学科は明海大随一の卒業生数です。歴史もマンパワーもある経済学科が今になって



同窓会支部を設立することになったきっかけを教えてください。

吉田哲也経済学科支部副代表(以下吉田) 学部長の下田先生のお力が大きいですね。下田先生には1期生から19期生の代表を指名していただき、準備委員会の立ち上げまで協力していただきました。今年度は立ち上げのご挨拶を兼ねて、支部

パーティーの開催を企画しています。

北原 他の支部に聞いてみたいことはありますか。



吉田 同窓生の消息のフォローというか、住所などの追跡調査をどのように行っているか伺いたいです。

渡辺 そうですね、卒業後何年も経つと引越など住所が不明になる方も出てきますね。郵便物も戻ってきてしまう。不動産学科では一人ずつの縁を辿って地道にフォローしています。会員だけでなく先生にも情報提供をお願いしたりして北原 活動していく上でも先生方のお力は大いということですね。

### 支部の力を“ALL明海”に結束して

北原 明海大学は比較的新しい大学で歴史は浅いけれど、その分逆に事例にとらわれずに活動できるという強みもあるわけですね。支部独自の取り組みや、今後こんなことをしてみたいという思いがありましたら教えてください。

志村 独自の取り組みという点で言えば、英米語学科支部では毎年クリスマスカードを送っていますね。

北原 カードにはどんなことを書いているんですか？

志村 英語のちよつとしたメッセージを添えています。



意味がわからないときは学生時代の辞書を引っ張り出してきてもら

おうと。

北原 なるほど、それは素敵ですね。

志村 教師や通訳など何らかの形で英語に携わっている同窓生は実は少数派で、卒業生の職業は多岐にわたっているんですね。英語から離れてしまった卒業生に学生時代をちよつと思ひ出してもらって、それが明日への活力につながるればいいかなと思います、送付を続けています。

川島 中国語学科支部ではHSKという世界標準中国語試験の受験料の支援をしています。卒業生のキャリアアップを支援することで、明海大学の知名度を何とか向上させようと頑張っています。

渡辺 不動産学科支部も、不動産関連の国家資格の取得を支援しています。それから不動産関連業界で働く同窓生の横のつながりを強くするため「不動産緑風会」を作って活動中です。

北原 業界の中で活躍する同窓生の結束をフォローしているんですね。

渡辺 ただ、業界を離れてしまう同窓生も多くなっているの、これからは異業種連携のための取り組みも同時に考えていかないとイケませんね。

北原 異業種というのなら、支部の枠を超えて“ALL明海”で行ったほうが効果的かもしれませんね。

志村 英米語学科支部では、設立6年目にして新たに実施しようとしていることがあります。教育実習に行く学生を

ピンポイントでサポートする「キャリアデザイン座談会」です。

北原 教育実





▲ 2011年7月30日、不動産学科支部の設立15周年を祝うパーティーが東京ディズニーランドホテルで盛大に行われ、約100人が集まった。



志村 1クラスに10数名程度だそうです。ですから座談会も少人数、まさに膝を交えてという感じです。悩みがあれば聞くし、質問があれば答える。とにかく不安

習ということは、志村さんが実際に教職に就かれている中で必要性を感じたということでしょうか？  
志村 実習生は非常に大きな不安を抱えて実習にやってくるんです。教員という職業も厳しいと聞いていた上に、免許制度も期限がついて厳しくなった。そんな中で採用試験に受かっていくのは、やはりモチベーションの高い学生なんです。  
北原 今、教職課程を取る学生はどのくらいいるのでしょうか？

を少しでも減らして、自信を持って実習に行ってほしい。  
渡辺 私たちは一時、有名私大OBの不動産業従事者が中心となって構成されている「不動産産連盟」との連携を考えたこともあり、今はあくまで組織の地固めをする時期と考えています。  
山下 同窓会の活性化を考えるならば、在校生、さらに高校生に対するアプローチが重要になってくるのではないかと考えています。どういう形であるべきか答えはまだ出ていないけれど、とにかく継続していくことでそこに大きな意義が生まれるんじゃないかと思っています。  
北原 経済はオールラウンド的な学部ですが、今後どう特色を出していくかと考えていますか。  
吉田 他大学との交流や留学生に対する支援など、いろいろな案が出ています。他の支部が行っていないことをやりたいですね。  
北原 今日は各支部の代表の方とお話して、非常にきめの細かい運営をされていることに改めて感心しました。同窓会本部でも今年で3年目となる「夢プロジェクト」をはじめとしてさまざまな企画を打ち出していますが、本部の手が届きづらいところを支部の方にフォローしてもらい、ついでに「ALL明海」として同窓会、そして明海大学をますます発展させていければと思っています。今日はありがとうございました。



■支部データ \*会員数は2011年11月1日現在

学部・学科	外国語学部日本語学科	外国語学部英米語学科	外国語学部中国語学科	経済学部経済学科
支部名	日本語学科同窓会	明英 (めいえい)	中国語学科同窓会	経済学科同窓会
発足年	2009年	2006年	2006年	2011年
会員数	1,851名	4,604名	1,450名	10,945名
代表者名	立花健一	志村典英	川島信一	丹羽響子
☑メール ☑ホームページ	☑ nihongo@meikai.com	☑ izumeiei@yahoo.co.jp	☑ http://meikai-china.jp	☑ keizai_aa@meikai.com
事業	親睦パーティー ニュースレター発行 定例会	親睦パーティー 英語教育セミナー クリスマスカード発行 ニュースレター発行 キャリアデザイン座談会 定例会	卒業生就職講演会 (3・4年生向け) 親睦パーティー HSK受験費用支援 定例会	設立パーティー 会報発行 HP制作 データベース整備 定例会

学部・学科	不動産学部不動産学科	ホスピタリティ・ツーリズム学部 ホスピタリティ・ツーリズム学科
支部名	緑風 (りよくふう) 会	明翔 (めいしょう) 会
発足年	1996年	2009年
会員数	4,547名	438名
代表者名	渡辺孝之	山下純八
☑メール ☑ホームページ	☑ http://www.meikai-rea.jp/	☑ hospiti@maikai.com
事業	不動産生涯研修事業 親睦パーティー 会報発行 無料不動産相談会 不動産学部宅建サークル支援 不動産緑風会支援 定例会 (設立15周年記念パーティー) * 2011年度単年事業	親睦パーティー 定例会

■引越しや結婚など、同窓会会員登録情報に変更はありませんか？



会員の皆様の情報を把握するために、ホームページ上で登録変更受付をしています。会員情報は会員の皆様への会報や、お知らせをお届けするための連絡先となるものです。情報が変更になった場合は速やかに変更をお願いします。

【登録していただく項目】

卒業年度/卒業月/学科/名前/旧姓/  
学籍番号(必須)/現住所/TEL/E-Mail

【同窓会ホームページ】

http://www.meikai.com/





2011 年度代議員会

## 同窓会と大学のためになる事業を推進

5月14日(土)、浦安キャンパスで2011年度同窓会代議員会が開催され、代議員45人と教職員15人が出席した。

まず始めに同窓会の北原淳会長と安井利一学長が挨拶。引き続き、同窓会の事業報告や決算報告、新役員および代議員の選出、新年度事業計画、予算案などが審議された。

2011年度の会長には北原会長が再任。同窓会の主体事業として「広報」「連絡会」「支部」「企画」「財務」「事業支援」「学生活動支援」の7項目で活動を継続していくことが認められた。

同窓会プロジェクト企画「夢プロジェクト」の活動報告会が11月6日(日)にキャンパス内で行われ、第2回採用団体「FIRE UP」が、同窓会々員、教職員の前で1年間にわたる活動や、今後の展望について発表した。

同団体は留学生2名を含む6名で構成。「GROW UP SHIN-URAYASU」と名づけられた彼らの夢は、ク

「たと思う」とコメント。残念ながら第3回のプロジェクト募集には応募がゼロだったが、同窓会では活動をさらにPRし、継続していく予定だ。



## 夢プロは、夢を叶える糧となった

### 第2回夢プロジェクト報告会



◀ 出来あがったクーポン付きフリーペーパー「GROW UP SHIN-URAYASU」(英語)

ポン付きフリーペーパーを外国人に配布し、彼らに日本の食文化を知ってもらいつつ、新浦安の活性化を図るといふもの。「いわゆる営業トークで押すのではなく、まず相手の店長さんの話をしっかり聞く、そして自分の言葉で相手に伝えるというやり方が成功につながる」とわかった」とメンバー。試行錯誤の末、新浦安の飲食店約60店の協力を取り付けた。

同窓会の平松副会長は「今回は非常にハードルの高いプロジェクト。達成できたかどうかだけでなく、経験として貴重なものになっ

# 会計報告

セキュリティの関係上、ホームページには公開致しません

# 約400人の参加者で大盛況!!

## 2011年度 同窓会パーティー

11月5日(土)、レストラン「ニューマリンス」で第20回明海大学浦安キャンパス同窓会パーティーが開催され、同窓生や教職員など約400人が参加した。

開始にあたり同窓会の北原淳会長は「今年は大震災があり、皆さんそれぞれに大変なかでお集まりいただき、ありがとうございます」と挨拶。来賓の佐々木康史副学長、永井通教育後援会会長からも挨拶が続いた。

乾杯の発声は下田直樹経済学部長。今年、経済学科にも同窓会支部が設立されたことを紹介し、「多くの卒業生に参加してもらったために、幅広い年度の卒業生に役員になってもらいたいと考えました。今後は経済学科同窓生による異業種交流会などを開催したり、明海大を盛り立てていくために同窓生としてできることを企画実行したりできれば」とコメント。「同窓会のますますの充実と発展を願います」と乾杯を促した。

その後は先生方を囲んで歓談したり、知人を見つけて記念撮影をしたりと、活発な交流が行われていた。原口庄輔外国語学部長は同窓生たちとテーブルを囲みながら「皆さんきれいになって。誰だか



下田先生

分らないくらいですよ」と冗談まじりに話し、笑顔を

見せていた。

### ◆参加した先生方 (順不同・敬称略)

佐々木康史副学長 【外国語学部】原口庄輔学部長、山下曉美、原和也、市川桃子、鶴島俊一郎 【経済学部】下田直樹学部長、工藤宜延、佐藤一磨、高山太輔、永井政治、吉田敦、李燕、山田朋生 【不動産学部】林亜夫学部長、斎藤千尋 【ホスピタリティ・ツーリズム学部】草野健学部長、白野伊津夫 【事務部】中山浩之、近江彰

また会の途中、東日本大震災直後のキャンパス内の写真がスライド

真がスライド

ド上映され、傾いたポールや液化化であったりして来た泥に覆われたグラウンドなどが映し出されていた。

最後は学科ごとの記念撮影。また、北原会長が各同窓生の名刺の提供をお願いすると、参加者たちは「母校のためならば」と協力。次回、また元気な再会を誓っての閉会となった。



北原会長



明海大学浦安キャンパス同窓会パーティー

「自分たちの子どもが大学進学を考

えるとき、明海大も選択肢に入るといいなと思います。少子化で大学も大変だと思いますが、これからも頑張ってください」(不動産学科卒)



▲震災時のスライドに見入る参加者。会場には募金箱も設置された。

「3月の震災後、浦安の知人を心配して食料を持ってお見舞いに来たんです。そのときに大学の様子も見に来ました。私の知っているきれいなキャンパスがこんなことになるなんて、ショックでしたが、工事が進み、きれいになった姿を見られて安心しました」(日本語学科卒)



明海大学浦安キャンパス同窓会パ



▲子どもたちに喜んでもらおうと、小学生以下を対象に「千本引き」を用意

「大学で知り合って結婚。子どもに大学を見せたくて、今日は子どもと一緒に参加しました。若いときに過ごしていた場所に自分たちの子どもがいるのは不思議な気持ちです」(日本語学科卒)



「今春の卒業生なので、これが初参加です。参加者が多いのと、食事が豪華なのでびっくりしました。また、来年も参加したいです」(HT学科卒)



「普段は友人ともなかなか会えないので、パーティーはいい機会です」(英米語学科卒)

＝ どんどん利用しよう！！ ＝

# 同窓会の「コミュニティサポート事業」

## 同窓生の集まりに最大6万円の支援

同窓会では、会員同士のコミュニティ作りに役立ててもらおうと、補助金をお支払いするサポートシステムを2010年からスタート。同窓生が集まるパーティー、部やサークルのOB・OG会などに、ぜひどんどん利用しましょう！！

### 活用レポート

JUL.17.2011

浦安ブライトンホテル

### 陸上競技部 OB・OG 会

参加人数 17人

今回のOB・OG会には、恩師・岡野進監督のほか、現役生2名が参加。本会の規約にもある「卒業生との親睦を図り、陸上競技部並びに現役生を支援する」という目的が果たせました。

懇親会では『おもひでの写真集、岡野先生の指導の下に…青春の軌跡』と銘打ったスライドショーを上映。おおいに盛り上がりました。監督の指導の下で競技活動を過ごせた4年間は、現在のビジネス社会で生きる私どもの精神の礎であることを再認識。監督に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

懇親会のみでは語りきれず、2次会へ。時間の許す限り語り合い、面識のなかった世代間のつながりもより強固なものとなり、現役生への一助になれたことと思います。



SEP.11.2011

稲毛海浜公園

### ラグビー部 OB・現役交流会

参加人数 13人



ラグビー部では毎年9月、OB会が主体となり、現役との交流を図るとともに秋の公式戦を控える現役の激励もかねた交流会を実施しています。今回はタッチラグビー、OBの子どもたちを対象としたキッズイベント、最後にはBBQを行うなど、盛りだくさんの内容となりました。

タッチラグビーではOB・現役混合で3チームを作り、卒業後はラグビーから遠ざかっていたOBも楽しめる内容に。最後にはOBと現役による真剣勝負を実施し、OBが何度か現役を苦しめる場面もありましたが、体力の差で惜しくもOB勝利とはなりませんでしたが、

BBQでは一致団結して炭に火をつけ、大盛り上がり。乾杯をはさみ、主将が挨拶と意気込みを語りました。終始、和やかな雰囲気が進み、OBも日頃の疲れを癒せた良い交流会でした。

AUG.7.2011

マルチスタジオ、トレビアン新浦安店

### チアリーディング部 MARLINS OG 総会 & 交流会

参加人数 15人



朝10時、同窓生11人、現役生4人がマルチスタジオに集合。準備体操から始まり、現役がこの日のために考えたダンスレッスンやスタンツ練習と、現役が普段こなしている練習を、みんなで一緒に行いました。人数が多いので難易度の高い技を練習でき、現役にとっても良い機会に。また、現役とOGがコミュニケーションを図れる良いきっかけにもなりました。

午後1時からトレビアン新浦安店で「OG総会」がスタート。決算報告のほか、「応援うちわ」を作成したこと、そのうちわを6月の勧誘イベントで使用したことなどが報告されました。

食事をしながら、OGと合同練習をしてみたの感想や現状報告、これからOGに対する希望など、現役からの生の声を聞くことができました。この意見を参考に、さらなるOG会の活性化に繋げていけたらと思います。

#### 【サポート条件】

- ① 原則として会員が10人以上で集まるコミュニティであること。  
\* 支援対象者は、会員のみ。
- ② パーティーや活動終了後、レポートと参加者名簿を提出すること。  
\* レポート・名簿ともに既定のフォーマットに記入。

\* レポートは、HPや会報に掲載させていただく可能性がありません。

\* 参加者名簿は、本会のプライバシーポリシーに準じて活用いたします。

- ③ 宗教や政治活動を目的とするコミュニティは対象外。
- ④ 支援は年度内1回のみ。(同じ人が年2回受けることはできません)

#### 【支援金】

3000円/人  
\* 上限60000円(20人相当)  
例) 参加者15人 ↓ 450000円 支援  
参加者25人 ↓ 600000円 支援

#### 【利用の流れ】

- ① 申込：同窓会ホームページの記載に従い、事務局へ申し込み
- ② 承認：理事会の承認を受ける
- ③ 支援確定：内容に問題がない場合、「支援確定」をメールにて連絡
- ④ 実施：代表者が参加者の現住所を確認、レポート作成
- ⑤ 提出：実施後2週間以内にレポートと参加者名簿を事務局へ郵送
- ⑥ 支払い：代表者へ振込

# 恩師からのたより



まいりました。の就職が気がかりになって

時あたかも不動産バブルがまさに崩壊し始めた時にあたり、マスコミ関係でも本学部第1回生の入学がかなり大きく報道され注目を集めておりました。しかし、残念なことに、いわゆる右肩下がりに差し掛かってきた流れは急には止まらず、卒業していく学生たちの就職が気がかりになってまいりました。

翻つて、本学部の卒業生の数を見るとすでに4500人を超えております。この卒業生が現役の学生ともども、ややもすると右下がりの傾向にある不動産学部を歯止めをかけ、不動産学部の新たな歴史と伝統をこれからも築き上げていくためには、相互のしつかりした「絆」の存在こそ不可欠と思われまふ。この「絆」そのものが不動産学部同窓会の「緑風会」であることを改めて関係者一同で共有・共感し、互いに行動を起こしていこうではありませんか。

## 創立15周年を迎えた「絆」

### 緑風会について

明海大学名誉教授・不動産学部客員教授 小泉 允園

明海大学不動産学部は、1992年4月に我が国初の学部として浦安キャンパスに創設され、早くも19年の歳月が流れております。

創設時以前から、欧米の高等教育機関を中心に不動産学が独立した学科、学部、大学院としてすでに数多く発足しており、それぞれの国の大学教育の一分野として、その役割を果たしております。

そこで初代石原学部長は第1回生が3、4年生に進級したころ不動産業界関連企業を中心に約100社、1993年に不動産学科主任を仰せつかった小生も約60社を対象に企業訪問し、学部卒業生の就職依頼に走り回ったわけですが、歴史も伝統もこれら作つていかなければならない我が不動産学部の卒業生にとって卒業後の進路は決して生易しいものではない状況でした。

我が国においては、不動産業が活況を呈していた1984年に、不動産業界は無論のこと官界、学会から大きな期待を寄せられながら「日本不動産学会」が設立され、初代学会長に石原舜介先生がご就任されました。この不動産学会の設立の流れを積極的に受け止めながら、石原学会長（後に初代不動産学部長に就任）自らが不動産学部の創設にご尽力され、不動産学会設立8年後の1992年に本学浦安キャンパスに我が国初の不動産学部をスタートさせたわけです。

## 同窓会支援事業

### 東北の方の力になりたい 今、自分にできることを！

#### 東日本大震災被災地復興支援活動



8月7日（日）～11日（木）、明海大学の学生9人と教職員6人が、東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県釜石市で瓦礫撤去などの復興支援活動を行い、10月6日（木）、学内でその報告会が行われた。

参加した学生は、「いま生きているありがたさを感じた。教員を目指しているので、将来、子どもたちに伝えていきたいと思った」（日本語学科4年男性）、「普通だと思って生活していること、当たり前前のごがどれだけ幸せなことなんだろうと思った。募金や節電など自分ができるところを続け、必ず復興した街を見に行きたい」（英米語学科1年女性）など、それぞれの熱い思いを語っていた。

▲引率した日野壽憲教授と

### 明海大学の さらなる発展を目指し 多様な意見を交わそう

#### 校友会 サマーキャンプ

明海大学の日本人学生と外国人留学生、教職員らが大学への帰属意識と連帯感を深めることを目的にした毎年恒例の「サマーキャンプ」が、9月1日（木）・2日（金）、群馬県みなかみ町で開催され、同窓会役員などを含む302名が参加。「明海大学の今後の在り方について」をメインテーマに、さまざまな意見交換を行った。

開会式では校友会会長や安井利一学長、教育後援会副会長の挨拶に続いて同窓会理事の丹羽響子さんが壇上に立ち、「皆さんと一緒に明海大学をよりよい大学に発展させていきたい」と抱負を語った。

参加者全員が16班に分かれての分科会ではそれぞれのテーマに添った議論が展開し、参加した学生からは「日本人学生、外国人学生、教職員など立場の違う人の意見を聞いてよかった」等の感想が聞かれた。



### 来てくれた人を いかに楽しませるかがカギ

#### 明海祭参加団体表彰

明海祭最終日の11月6日（日）、浦安キャンパス同窓会による参加団体表彰が行われた。これは明海祭で発表を行っている団体の中から優れた発表を行った団体を表彰するため、今年は10団体が参加した。

芸術性や独自性、明海祭の活性化に貢献したか等の項目を審査した結果、最優秀賞には「素人En劇集団劇団明海」による『Made in Wonderland』が選ばれた。劇の内容もさることながら、劇が始まる前からお客さんを楽しませる仕掛けが用意されていたことも高評価につながった。小林のぞ美団長は「昨年から温めてきた企画で受賞できてうれしいです。この気持ちを忘れずにこれからもやっていきたい」と語った。

優秀賞は「茶道部」による『お茶会』。特別賞には英米語学科のグラス先生のゼミ生による英語人形劇が選ばれた。



▲受賞を喜ぶ劇団明海

# 体育会からのメッセージ

## サッカー部

3月11日に起きた東日本大震災で、本学のグラウンドは甚大な被害を受け、今年の公式戦は全てアウェーゲームという状況の中でスタートしました。その中で選手・スタッフともに出来る限りの努力をし、千葉県大学サッカー1部リーグにおいて5連覇を達成しました。

関東大学サッカー大会では、予選リーグ1節 VS 山梨学院大学 1-1の引き分け、2節 VS 東京国際大学 1-4で敗北。3節 VS 作新学院大学に勝てば昇格決定戦に進出という状況でしたが、1-2で敗れ、残念ながら予選リーグ敗退となりました。しかし、選手たちは与えられた環境の中で最後まで諦めず、必死になって昇格を目指しました。この悔しさを忘れずに、来年は歓喜の年となるよう更なる努力をしてみたいです。

(監督 八津川義廣)



## 空手道部

同窓会の皆様にはご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

空手道部は2011年度で体育会発足4年目となり、各大会における知名度も向上してまいりました。第54回関東学生選手権大会(団体戦)では、昨年度実績であるベスト4の壁を越えることができず、とても悔しい思いをしました。第55回全日本学生空手道選手権大会は男子のみの出場となり、1回戦中京学院大学、2回戦東海大学と対戦し、落ち着いた試合運びで勝ち進みました。続く3回戦では、強豪の近畿大学工学部に惜しくも敗れましたが、決して悪い内容ではなく、選手一人ひとりも精神的に強くなったと感じました。

本年度の大会では現3年生の活躍が目立ち、次年度に向けて更なる飛躍が期待されます。『2012年度は飛躍の年。全員泣きはなし。』をテーマに、上田主将、岡野、二瓶といった3枚看板の活躍を期待し、チーム一丸となって日本一を目指して稽古に励んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

(監督 上妻優介)



## ヨット部

3月9日から部員30名で行った春季特別強化合宿の帆走練習中に東日本大震災に遭い、合宿を中止。まともな練習すらできぬまま、春季関東学生ヨット選手権を迎えた。4月の春季インカレも中止となり、代替として5月に江ノ島で行われた第1回関東学生新人大会では総合7位。関東学生女子ヨット新人戦は早稲田を破って準優勝と、幸先の良いスタートを切った。

昨年同窓会のご支援をいただいて導入したスナイブクラスの競技力向上は目を見張るものがあり、各大学からマークされている。

関東インカレは難なく決勝に進み、6位で全日本インカレの出場権を獲得。女子は3年連続で全日本女子学生選手権に出場し、総合で入賞するなど活躍の場が広がった。

2011年はヨット部にとっては飛躍の年で、全日本470級ヨット選手権では初めてゴールドクラスに残り、18位に。男子スナイブクラスでは、初の世界選手権に大田主将が、470級では波田地由佳と又村彩が、2012年1月にニュージーランドで開催される470級ジュニア世界選手権大会に日本代表選手として派遣されることとなった。これは創部当初からの目標であった「ナショナルチーム」入りであり、ひとえに、ご支援・ご協力のおかげと感謝申し上げます。次年度に繋げたいと思っております。

(監督 國府田由隆)



## 『会員サービス β (試行版)』について

現在、同窓会では、2016年に迎える25周年の記念事業の企画を検討しています。その中のアイデアの一つとして、会員証を発行した上での会員サービスを検討しています。

この企画の目的は、卒業生相互のサービス提供や、学生や母校へのサービス提供により、卒業生同士・学生・母校に対する関心を高め、コミュニケーションを活性化することです。

今回は、『会員サービス β (試行版)』として、QRコードを印字しました。こちらを携帯電話で読み込むと、画面上に会員証となる画像が表示されます。この画像を当該施設に提示していただくことで割引などのサービスを受けることができます(URL直接入力の場合: <http://www.meikai.com/membership>)。なお、一部機種ではご利用いただけない場合がございますのでご了承ください。



- ★明海大学浦安キャンパス内の『ニューマリズ』にて、お食事が10%割引されます。
  - ★明海山の家『ホテルアルパイン』をご利用の際、宿泊料金が10%割引されます。
  - ★『生命の森リゾート』をご利用の際、提携法人サービスによる各種特別プランが利用できます。
- ※各施設の説明、サービスの詳細(利用上の注意)については、利用前に必ず携帯画面かホームページでご確認を

## 編集後記

はじめに、3月11日に発生した東日本大震災で被災された同窓会員の皆様に対して、心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

今年度の浦安キャンパス同窓会の活動として大きな出来事といえば経済学科支部が設立したことです。経済学部経済学科はこれまで最も多くの卒業生を輩出している学科でありながら、支部が存在していませんでした。支部が本格始動し、多くの卒業生間で異業種交流を図り、母校を盛り立てていきたいと思います。同時に、就職支援などをはじめさまざまな面で在学生をサポートしていただきたいと思います。同支部の設立に伴い、全学科の支部が整備されたこととなります。今後の支部活動に期待を寄せずにはられません。

最後に、この会報を多くの同窓生の皆様に読んでいただき、感想等がありましたらぜひ、同窓会事務局にご連絡いただければ幸いです。

(会報担当/磯見隆行)



最新情報はHPをご覧ください  
<http://www.meikai.com/>